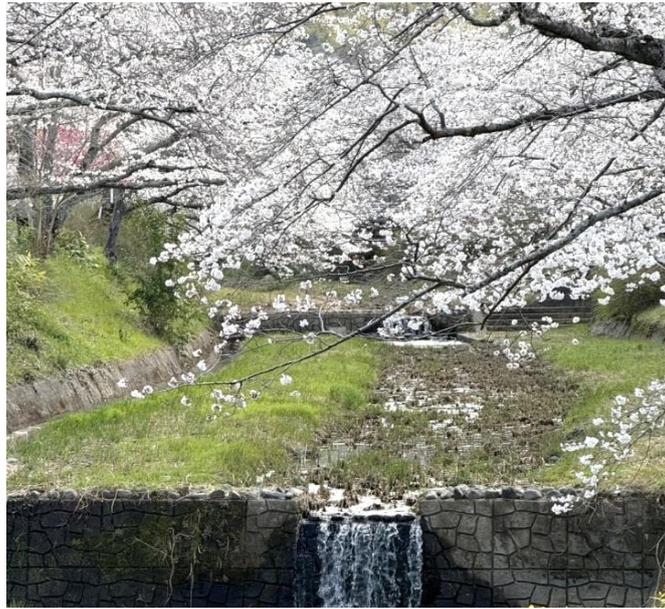


令和7年度（2025年度）

井手玉川大学

（まとめ）

《 心豊かに 生き生きと 》



井手町教育委員会

令和7年度(2025年度) 井手玉川大学 年間実施講座

回	日 時	講 座 内 容	講 師
1	7月29日(火) 13:30~15:00	・開講式 ～琵琶湖からの贈り物～ ・「ヨシのはなしとヨシ笛コンサート」	琵琶湖よし笛演奏ユニット ほっとらいん さん
2	9月9日(火) 13:30~15:00	「南山城のつながりについて」 (兼)文化講演会	鹿鷲山 笠置寺 住職 小林 慶昭 さん <small>こばやし けいしょう</small>
3	10月7日(火) 13:30~15:00	「必ず幸せになる法則」 ～あなたも私も自分らしく 生きるために～ (兼)男女共同参画講演会	元テレビ東京アナウンサー 茅原 ますみ さん <small>ちはら</small>
4	11月15日(土) 13:30~15:00	「体力チェックと輪投げ練習会」 ※ 会場：勤労者福祉会館	スポーツ推進委員、町職員
5	12月9日(火) 13:30~15:00	「認知症になった波平」 ～高齢者の人権について考える～ (兼)井手町人権のつどい	日本福祉大学中央福祉 専門学校特別顧問 渡辺 哲雄 さん <small>わたなべ てつお</small>
6	1月20日(火) 13:30~15:00	「新春落語 井手玉川寄席」 ～笑いは健康の源・笑う門には 福来る～	しょうふくてい かくし 笑福亭 伯枝 さん
7	2月17日(火) 13:30~15:00	・閉講式 ・「食べる色彩学」 ～元気の素は“色”にある～	認定 NPO 法人 色彩生涯教育協会認定講師 カラトリエ代表 辻井 裕美 さん <small>つじい ひろみ</small>

開講式・第1回講座のまとめ

- 1 日時 令和7年（2025年）7月29日（火）13:30～15:00
2 会場 山吹ふれあいセンター 会議室
3 内容 開講式 式辞 井手町教育委員会 中田 邦和 教育長
講演 演題 『ヨシのはなしとヨシ笛コンサート』
～琵琶湖からの贈り物

講師 琵琶湖よし笛ユニット ほつとらいん さん

- 4 参加者 受講者 44名 その他9名 計53名

- 5 開講式
挨拶 中田邦和 教育長

6 講座

<講演概要>

(1) 講話

「自然界の水質浄化システムとして機能するヨシ原の説明」

近江八幡市西の湖は、よしずで有名な葦の群落地である。「葦」は「アシ」とも「ヨシ」とも読まれるが同じものである。「アシ」は「悪し」につながるのでゲン担ぎで「ヨシ」となったともいわれる。

ヨシは、パイプ状の茎で中に空気があるので断熱性があり、表面は水をはじく。ただ、現在は防火の観点から屋根には使われなくなった。

近江八幡市のヨシは「背高ヨシ」で高さ4～5mになる。ヨシ畑でヨシを育てるが、春に芽吹き夏に育つ。秋に立ち枯れて茶色くなり、冬に刈り取って干し、いろいろなものに使う。冬のシーズンが終わるとヨシ焼きすることで焼き畑農業のような形で活用する。したがって地下茎は生きているがヨシは1年草である。

ヨシは水質浄化の役割を果たす。なぜなら、ヨシは水を汚す原因の窒素やリンを養分にして育つからである。1本の葦が年間2000ℓの水を浄化する。したがって葦はSDGsに役立つ植物である。

ヨシは英語で「reed」、管楽器のリードとはヨシのことである。

我々は、ヨシそのものをヨシ笛という楽器にし、長さの違う（音の高さの違う）2種類のヨシ笛を使って演奏する。



(2) 鑑賞曲

- ・めぐり逢い（ヨシ笛&ギター）
- ・夏の思い出（ヨシ笛&ギター）
- ・山小舎の灯（ヨシ笛&ギター）
- ・高原列車は行く（ヨシ笛&ギター）
- ・栄冠は君に輝く（ヨシ笛&ギター）
- ・長崎の鐘（ヨシ笛&ギター）
- ・知床旅情（ヨシ笛&ギター）
- ・北の国から（コカリナ&ギター）

※コカリナ：小さな木の笛

- ・涙そうそう（コカリナ&ギター） ※唯一「平成」の曲

森山良子さんが、23歳で亡くなったお兄さんのことを思い浮かべて書いた詩



・青葉城恋唄 (ヨシ笛&ギター)

曲中の歌詞「ときは巡り」について、「とき」＝「時」であったが、阿久悠さんの「時」は過行くもので「巡る」ことはない、「季節」と書いて「とき」と読むほうが良いのではというアドバイスにより変更された。

東日本大震災の被害にあった石巻の北上川の河口に広大なヨシ原がある。地盤沈下と津波被害で70%が失われた。その復興事業に参加して2回訪れた。2回目訪れた2018年には50%まで戻っていたが、最近の情報では70%～80%まで復活しているとのこと。子どもたちによってヨシを植樹する活動など皆さんの努力があつてのこと。そのヨシを刈り取り干したものを活用して卒業証書を作る活動もされているとのこと。

・いい日旅立ち (ヨシ笛&ギター)

国鉄ディスカバージャパンⅡのキャンペーンで谷村新司さんに依頼して作られた曲。

・月の砂漠 (ヨシ笛&ギター)

・シルクロードのテーマ (ヨシ笛&ギター)

・糸 (ヨシ笛&ギター)

7 質疑応答

Q: ヨシ笛は、ほっとらいんさんが自作されているものか?

A: 日本ヨシ笛協会を立ち上げて、広めていこうと活動しており、私が理事長をしている。

ヨシ笛は、協会の中の12人の認定制作者が制作している。

Q: 曲ごとにヨシ笛の種類を使い分けているのか?

A: 2つの長さの違う(音域の違う)ヨシ笛を使っている。本日は1曲目「めぐり逢い」のみ長いものを使い、それ以外は短いヨシ笛を使った。

Q: 息の使い方はどうしているか?

A: 同じ指使いで、息の強弱で1オクターブ上げ下げする。

Q: クラリネットなどの場合には、リードを自分で削って自分に合うようにして使っているが、ヨシ笛はどうか?

A: クラリネットなどはリードを震えさせないといけないので、削ったり湿らせたりするが、ヨシ笛の音の出る理屈は尺八と同じであるのでその必要はない。ただ、ヨシは細いのでちょうど良いところに息をあてがうことが難しいので、竹の吹き口をつけている。

8 受講者の感想

- ・まさにテーマのとおり「琵琶湖からの贈り物」ですね。素晴らしい風景と音色の美しさは生涯忘れぬことでしょう。
- ・皆の心に寄り添うような演奏で、いやしと元気をいただきました。
- ・暑い日で身も心もグッタリだけど、生き返りました。
- ・涙が止まらなかったです。初めての玉川大学参加で少し不安でしたが、これからの回も楽しみにさせていただきます。
- ・音色が心の奥底まで浸透しました。久しぶりに声を出してすっきりしました。素敵な時間を過ごさせていただきました。
- ・ヨシについて知識が全然なかったのですが、今回受講して多くのことを知ることができました。
- ・ご夫婦のトークが楽しかったです。
- ・ご夫婦の仲の良さが曲に出ていて心に響きました。また聞きたいです。音楽っていいですね。

第2回講座・井手町文化講演会のまとめ

- 1 日時 令和7年（2025年）9月9日（火）13:30～15:00
- 2 会場 山吹ふれあいセンター 会議室
- 3 内容 挨拶 井手町文化協会 谷口 良信 会長
講演演題 『南山城のつながりについて』
講師 鹿鷲山 笠置寺 小林 慶昭 住職
- 4 参加者 受講者 43名 その他8名 計51名
- 5 講演概要



(1) 「南山城」とは？

乙訓郡を含む京都府南部地域は、平安遷都以前「山背国」、遷都以降「山城国」と呼ばれた。その中でも奈良市に隣接する木津川（泉川）の流域を南山城と呼ぶ。

「みかの原 わきて流るる 泉川 いつ見きとてか 恋しかるらむ」

実際に会ったわけでもないのに、なぜこんなにも恋しく思われるのか。

『百人一首 27番』中納言藤原兼輔（紫式部の曾祖父）

(2) 「南山城」の歴史概観

この地の歴史は古く、40面にも及ぶ銅鏡が出土した椿井大塚山古墳に始まり、上狛・下狛の地名により朝鮮半島との関連が推測され、やがて聖武天皇による平城京の外港、恭仁京の造営、行基和尚による木津川に架橋や寺院の建立。井手町には玉川の扇状地地形を利用した東大寺荘園。都が長岡京・平安京に遷都されてからも、南山城は政治・経済・文化などさまざまな面で、新旧の両都市を結ぶ重要な役割を果たし、以後は元弘の戦乱や山城国一揆など、歴史の舞台として度々登場する。

また仏教文化においては、神童寺・鷲峯山・笠置山など木津川流域の山々には俗世を離れた聖地として山岳修験の場が開かれ、鎌倉時代には、興福寺の高僧 解脱上人貞慶和尚が笠置寺や海住山寺において釈迦如来・弥勒菩薩・観音菩薩に対する信仰を深め、南都の戒律復興運動が進められ、江戸時代には袋中和尚による念仏の場として日本仏教における聖地としても注目されている。

(3) 母なる川“木津川”（南山城地域を育む）

すべての市町村と接点をもつ。（和東の木屋・笠置の飛鳥路）

古代（平城京）は、大陸からの文化・文明をもたらす「知の道」。

平安以降は、平安・平城の都をつなぐ「物流の道」。（人・荘園の年貢米、茶、木柴）

① 三川合流による流域の広さ（南山城・京・難波）

若狭から琵琶湖（海津・塩津）を経て。難波や伊賀から。（津とは港を意味する）

東大寺大仏殿建設の用材が木津川によって運搬された。『笠置寺絵縁起』

② 川港の発達と産業

江戸時代初期、石清水八幡宮の支配下にある淀上荷船と呼ばれた507艇の二十石船は、淀川は大阪・尼崎、宇治川・桂川、木津川は笠置まで自由に往来できたが、木津川六ヶ浜（一口・吐師・木津・加茂・瓶原・笠置）の上荷船は、所属する浜からの積出のみ許可され、淀川を航行することはできなかった。

また旅客専用船の三十石船は、伏見・大阪間を一日二往復した。

江戸時代には相楽の麻織物（のちに蚊帳や襖地、壁紙へ）、幕末から明治へは茶の輸出が増大し上狛は集約・加工・精製の地となった。

③ 水運から陸路へ。水運から治水へ

笠置と伊賀や柳生の間には水運権をめぐる差し止めの願いが出るほど重要な木津川水運の物流は、やがて鉄道や道路が主体となった。

(4) 歴史的つながり

① 大陸から平城京への文化の道

奈良時代には遠く大陸（高句麗からの渡来人）からも。（繊維や鉄器の製造）

笠置の磨崖仏は天人彫刻（天人とは渡来人か？）

東大寺「お水取り」における若狭「お水送り」と、関伽井の関係。

② 南都仏教の勢力拡大

東大寺・興福寺の勢力拡大。（荘園として整備される）

③ 元弘の戦乱（各地に残る山城や砦の跡）

後醍醐天皇は、笠置山から有王へ。

「さして行く 笠置の山を いでしより あまが下には 隠れ家もなし」

④ 伊賀街道・大和街道の通る、交通の要所・

お伊勢参り

神君伊賀越 本能寺の変の後、家康は明智光秀の追手から三河へと逃げた。

⑤ 宇治茶の主産地

木津川流域の井手・田辺は玉露、山間部の宇治田原・和束・南山城村は煎茶、上狛の茶問屋街から世界へ。

⑥ 大阪への燃料供給地

山間部からは木柴、大阪からは塩などが。

⑦ 現在では、海外からも注目される「お茶の京都」エリアに



(5) 地域活性化について

- ・自分たちの町に誇りを持つこと
- ・自分たちの町が好きと思えること（子どもたちの意識は特に大切）
- ・自分たちの町に無関心ではいけない

(6) 特殊詐欺に注意

6 質疑応答・感想など

- ・雨乞いのための「お経」はあったのか→請雨
- ・閻魔さんと雷（鬼）の仏教的な位置づけは→仏教の変遷（中国）の中で生まれたもの
- ・井手町には約 400 首の和歌ある 歴史ある井手町への愛情をもって、町発展のために力を尽くしたい

7 受講者の感想

- ・南山城地域にとって、木津川の水運が重要な役割を果たしていたこと、「母なる木津川」に感謝することの大切さを教えていただきました。
- ・南山城の歴史について詳しく説明していただき、昔のことを想像して楽しくなりました。
- ・今日の講演を聞かせていただいて、より一層、井手町に生まれ、生涯生きていけることに、誇らしく喜ばしいことだと感謝の気持ちでいっぱいです。

第3回講座・男女共同参画講演会のまとめ

- 1 日時 令和7年（2025年）10月7日（火）13：30～15：00
- 2 会場 山吹ふれあいセンター 会議室
- 3 内容 挨拶 井手町教育委員会 寺井 佳孝 社会教育課長
講演 テーマ 『必ず幸せになる法則
～あなたも私も自分らしく生きるために～』
講師 元テレビ東京アナウンサー 茅原 ますみ さん
- 4 参加者 受講者 57名 その他9名 計66名
- 5 講演概要



(1) 仕事について

- テレビ東京に入社し、ニュースの記者やアナウンサーを務めた。
自分のやりたいことをやり遂げて勤続35年（57歳）で退社した。
- 男女雇用機会均等法1期生
泊まり勤務があるなど男女の分け隔てのない職場であったが、名刺が男女で違い、女性の名刺の角が丸かった。「女性は丸い方がお似合い」という配慮であったのかもしれないが違和感があった。
- 最初は教員を目指したが、就職試験でテレビ局の方から「いい声してるね」という声掛けがあって、アナウンサーを目指すことに。人からのタイムリーな声掛けを大切にする。
- 入社して、記者・アナウンサー・CSRを担当、最後はやり切ったという気持ちをもって退職。仕事では、自然の流れに身を任せ、感じることを素直に受け入れることが大切である。
- 結婚で女性が変わることがいや。例えば姓が変わること。結婚後に外から電話があった時、旧姓が通じずに取り次いでもらえないことなどがある。夫婦別姓が一番良いと思っている。
- 政治記者をやっていた時期に培ったことは、「噂話は信じない」こと。
自分で確かめることの大切さを学んだ。
- 北朝鮮、イラクにも派遣された。危険を顧みず取材活動をする中で、男女分け隔てがない、女性を特別視することのない経験をした。
一人の人として認め合うことの大切さを学んだ。
- 男は男性アナウンサーと呼ぶのに、女は女子アナと呼ぶ。男女を同じようには扱っていないことが問題である。
- 入社9年目、母になってからアナウンサーになった。「子どもを産んでからアナウンサーになるなんて」という周りの目もあったが、母という面での自分らしさを大事にしようと考えた。
出産前は妊婦服で出社した。
三男出産の際、妊娠中に実母が亡くなり鬱状態であった。出産時にいつも居てくれた母はいなかったが、夫や友人5人が分娩室に入って励ましてくれたことで自分らしさを大切に無事出産することができた。
- 子どもを育てながらニュース番組のキャスターを務まるのかという不安はあったが、子どもを職場に連れて行き、母乳を飲ませながら仕事をするなど自分らしさを忘れずに続けることができた。



(2) 家族・家庭について

- 男性は仕事のみで、家事、育児、仕事を全て女性がするのはおかしい。料理と掃除を夫と妻で分担することとし、助け合って家庭生活をすることにした。
- 豊川稲荷で福豆の豆まきを毎年夫婦でやっている。毎年来る人は、自分をリセットしに来ているように思うとともに、豆まきをしている我が夫婦もリセットする思いがある。何かのイベントを節目に家族が心を新たにリセットすることは大切である。迷っていることが解消される。
- 夫が癌で闘病しているときに、子どもと一緒に夫に歌を歌うなどエネルギーを与えることに努めた。母親が癌になった時、あきらめた自分がいたが、夫の時にはあきらめないと決めた。
- 夫は目の上に白いできものができたので眼科に行った。眼科の医師の診断は、「おそらく結膜炎だけれど、もしかすると帯状疱疹かも知れない。」とのことであった。夫が「帯状疱疹」ということを自分に伝えなかったこともあって、対応が遅れ緊急入院した。家族が幸せになるには情報の共有は大切であると感じた。
- 夫はフリーアナウンサー転身後2ヶ月で悪性リンパ腫になった。ステージ4、4ヶ月半～1年の入院が必要と言われ人生のどん底であったが、自分は夫に元気を与えようと決断した。夫が脱毛のためカツラを着けようかということになったとき、私は「将来お坊さんになることがないのなら、今しかないのだからカツラを着けない今を楽しんだら？」と声をかけた。
その時、夫は笑った。どん底の中で、少し幸せな気分になったのだと思う。言葉の選び方で随分変わる。言葉の力の大きさを感じた。
病人に対して「頑張って」ではなく、「頑張ってますね。」「頑張りましたね。」という共感の言葉かけが大切である。
幸せになる道筋は「言葉」である。「自分が発する言葉」「人から発せられる言葉」である。
聞きたくない言葉は聞かなくてよい。
プラスの言葉を発することが自分を幸せにし、他の人を幸せにする。そして、他の人が、自分に幸せをくれるはずである。悪い言葉を使わない。言葉を大切にしたい。
最後に、私が使っている魔法の言葉は「あー幸せ！」である。

6 質疑応答・感想

Q 人事局事務局長として、CSR活動をした時のコンセプトとは？

A 企業の持っているものを若い人たちに伝えることによって、社会はどうあるべきかを考えるきっかけ作りにしたかった。

・ いろんな情報をインプット・アウトプットしながら幸せをつかもうと思う。

7 受講者の感想

- ・ 言葉のかけ方で幸せにできる。言葉のかけられ方で幸せになれる。言葉の大切さを感じました。「あー幸せ」という言葉を心に刻みたいと思います。
- ・ 言葉の大切さを改めて感じました。「頑張ってますね。」「頑張ってるんですね。」「頑張りましたね。」幸せになる道は「言葉」なんですね。つらい時も、しんどい時も切り替える大切さ、「あー幸せ」魔法の言葉ですね。
- ・ 茅原さんご夫妻の夫婦愛を強く感じる講演でした。言葉に救われることがたくさんあること、よくわかります。茅原さんの諦めない気持ち、強いバイタリティーで今後の人生も楽しく明るく切り開いて行ってください。

第4回講座のまとめ

- 1 日時 令和7年(2025年)11月15日(土)13:30~15:00
- 2 会場 京都府立山城勤労者福祉会館 体育館・会議室
- 3 内容 『体力チェックと輪投げ練習会』
 - ① 開会 挨拶 スポーツ推進委員会 寺村勝彦委員長
 - ② 準備体操 スポーツ推進委員
 - ③ 体力チェックと輪投げ
 - ・開眼両足立ち(一斉計測)
 - ・体力テスト4種目(握力、上体起こし、長座体前屈、10m障害物歩行)と輪投げをA・B 2グループで交互に実施
 - ・6分間歩行(一斉計測)
 - ④ 閉会
- 4 参加者 井手玉川大学受講者 20人
要員 : 井手町スポーツ推進委員 7人、保健医療課3名、高齢福祉課2名、保健センター3名、社会教育課6名 計 41名
- 5 成果と課題(申し送り)
 - ① 成果
 - 運動に適した比較的暖かな気候であったため、特に大きなケガや体調不良がなかった。参加者は良い汗を流し満足気であった。
 - スポーツ推進委員が、準備・進行・片付けについてとても手際が良く、また、5つの班の担当者を設け(役場各課職員)誘導できたことなどで、大きな混乱がなく、スムーズに進行でき、従来の玉川大学と同様の間に終了することができた。
 - 今回も「輪投げ練習会」を内容の一つとした。併せて、開閉会式で「輪投げ交流会」(R.8年2月開催)の広報もできたため、本番の参加者増につながられたのではないかと。
 - ② 課題
 - 今回の参加者は20名と少なかったが、より多くの参加につなげるために内容等を検討する。
 - 今回は気候的に恵まれたが、天候によっては、体育館は適さない。



第5回講座・井手町人権のつどいのまとめ

- 1 日 時 令和7年（2025年）12月9日（火） 13:30～15:00
- 2 会 場 山吹ふれあいセンター 会議室
- 3 内 容 挨拶 井手町教育委員会 中田 邦和 教育長
講演 テーマ 『認知症になった波平』 ～高齢者の人権について考える～
講師 日本福祉大学中央福祉専門学校特別顧問
渡辺 哲雄 さん
- 4 参加者 玉川大学年間受講者 37人、その他 29人、行政職員 27人、合計 93人
- 5 講演概要

混雑した電車の中でマスクをしたまま仁丹を食べようとして、まき散らしてしまい、恥ずかしい思いをした。そういうことが度重なると、こうして認知症になっていくのではないかと不安になることがある。

刺激が脳の海馬に入る。短期で忘れてしまうことと長期記憶しておくことを分けている機能を扁桃体と呼ぶ。扁桃体は感動を司っているところである。感動を伴うと忘れずに覚えている。扁桃体と海馬の細胞を動かせば動かすほど活性化する。感動して生きることが大切である。「感動」には人が関わっている。「嬉しいこと」「楽しいこと」ばかりではない。

「怒り」や「悲しみ」などマイナスのことも「感動」であり、それは認知症予防とも言える。人と関わり、いやなことにもチャレンジすることが大切である。

サザエさんの波平さんは、あまり扁桃体が動いているとは思えない。なぜなら、同じ家族構成の中で、行動範囲が狭く小さな出来事の中で毎日暮らしている。



【波平さんが認知症になったという仮定の話】

波平さんが認知症になる。やがて、昼と夜が逆転し徘徊するようになる。フネさんが、波平さんの和服の袂を引っ張ると波平さんは怒る。人は自由を妨げられると腹を立てるものである。マスオさんは仕事先の部長に相談する。認知症の母親を看送った部長は、教訓として「最後まで家で看ようとしてはだめ。家庭が壊れる。施設を利用することも考えるべき。」とアドバイスするが、いざ施設にという話になると、世話になったお父さんを施設に入れることに家族の反対意見が出る。

波平さんが扁桃体を動かさないで、毎日同じようなことをしていることが原因であり、違う人、違う話題に接することが認知症予防に大切なことである。とは言え、長生きすることは認知症になることにつながるが多い。

『すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。』と憲法第13条に記されている。中でも「自由」が最も大切にされているものであり、そこには「意志」が存在している。人権とは「相手の意志を尊重する。」ということである。

第6回講座のまとめ

- 1 日時 令和8年（2026年）1月20日（火）13:30～15:00
- 2 会場 山吹ふれあいセンター 会議室
- 3 内容 講演 テーマ 『新春落語 井手玉川寄席』

～笑いは健康の源・笑う門には福来る～

講師 笑福亭 伯枝 さん

- 4 参加者 受講者 37名 その他9名 計46名

5 講演概要

昨年も井手玉川大学に来させていただきました。大変好評だったということですが、その割には空席が多いですね。今日は風の強いお忙しい中、こうやって集まってもらえるということは、よほど落語が好きな方か、あるいは、家におられん事情がある方か。いずれにしても、笑いは健康の元、笑う門には福来る。笑うとナチュラルキラー細胞が増幅して、がん細胞を攻撃してくれるということです。大いに今日は笑ってください。

落語家は、他の演芸と違って師匠に弟子入りしなければならない。私の師匠の笑福亭松鶴は、大阪の落語四天王のうちの一人、鬼瓦のような顔をした人、よく顔の怖い人は心が優しいというが、松鶴師匠は顔も性格も怖かった。



弟子はたいてい師匠の名前をとって芸名をつける。「仁鶴」・「鶴光」・「鶴瓶」は「松鶴」の『鶴』の字をもらっている。

「松喬」・「松枝」・「松葉」は『松』の字をもらっている。私の名前「伯枝」には『鶴』も『松』もない。どちらかという、桂一門に合う名前である。若い頃は『鶴』の字が欲しい。『松』の字が欲しいと思った。芸歴40年になる今となっては、『鶴』と『松』の両方をもらっても良いなと思っている。八代目「松鶴」襲名、これを昨年、上方落語協会に提案したが、すぐに「白紙（伯枝）」になった。

コロナの時は仕事がなかった。3ヶ月まったく仕事のない時もあった。一昨年ぐらいから少しずつ戻り、去年は幅広くお仕事に行かせていただいた。北は北海道から南は井手町まで。

いろんな土地へ行って何が面白いかというと「方言」が面白い。和歌山県新宮では、「人がいる」ことを「人がおる」と言う。「物がある」ことを「物がおる」と言う。土地の人の会話を聞いているとおかしい。A:「今日お前とこ、おっさんあるか?」、B:「おっさん無いで。」、A「けど、下駄おるで。」、B:「ほな、おっさんあるわ。」新宮の年配の方は、今でもこんな風にしゃべっている。

長崎県の諫早に行くと「は」が「な」になる。返事の「はい」は「ない」になる。食堂に入って注文するとき困る。「焼肉定食2つ」「ない」、「中華ランチ2つ」「ない」、「親子丼」「ない」「カレーライス」「ない」・・・。「何もないがな。こんな店あかん。」と席を立った時に、注文した品が、目の前に全部出てきた。もったいないので出された料理を全部食べて、最後にお金を支払うとき、財布の中身が「ない（無い）」

信州長野県は、「蕎麦」が名物。手打ちというと「蕎麦」のことである。「おはぎ」のことを「半殺し（米を半分潰しているから）」という。旅行客が民宿に泊まった時のこと、主と女将さんの会話が、「なあ、ばあさんや。今日お泊りの客人、明日の朝は手打ち（蕎麦）にしようか、半殺し（おはぎ）にしようか。」、客人は、怖くてすぐに出て行ったとか。

名古屋では道を聞くことができない。旅人:「名古屋城へはどのように行くのですか?」地元の人:「名古屋城は、この道を真っすぐいこまい。」「突き当たろまい。」「右へ曲がろまい。」「左へ曲がろまい。」、旅人は、どっちに行っても良いかわからなくなる。

一番ややこしいのは大阪弁である。中国から来た大型犬でチャウチャウ犬というのがいる。東京の人の会話ではA:「その犬、チャウチャウと違うの?」、B:「これはチャウチャウじゃないよ。」とよくわかるが、大阪の人の会話ではA:「この犬、チャウチャウとちゃうん?」、B:「チャウチャウとちゃう。」と訳が分からなくなる

玉川大学は、教育委員会主催ということなので、今日の落語の一席目は、ちょっと高尚な、身になる、教養の高い仏教を扱った落語を聞いていただきたい。

【落語：お血脈（おけちみやく） 披露】

信濃国善光寺には「お血脈」と呼ばれる、どんな罪を犯しても、額に押すと極楽浄土へ行くことが約束される印判がある。「お血脈」の大流行にともない、死者はほとんど極楽往生するようになり、地獄は不景気となり、衰退の一途をたどっている。困った閻魔大王は鬼たちを集めて相談し、寺から「お血脈」を盗み出すことになった。そこで地獄にいる有名な泥棒である石川五右衛門を呼び出す。話を聞いた五右衛門は「お血脈」の盗みを請け負う。

五右衛門はさっそく善光寺に侵入すると、「お血脈」の入った箱を見つけ出す。箱の中にはさらに箱があり、ようやく「お血脈」を発見する。五右衛門は喜びのあまり、「お血脈」を額に押ししてしまったために極楽に行ってしまった。

【ワークショップ：社会教育課職員に落語指導】

噺家は「扇子」と「手ぬぐい」の仕草で表現する。「うどんを食べる仕草」は、左手で茶碗、右手の扇子で箸を表現する。扇子で銚子や一升瓶を表現することもできる。扇子を開いたり閉じたりすることで「植木鉢」を表す。手ぬぐいで「焼き芋を食べる仕草」をする。

<レクチャー>

- ・扇子を箸にうどんの食べ方
- ・小噺

【落語：花筏（はないかだ） 披露】

提灯屋の徳さんに知り合いの相撲部屋の親方からの頼み事があった。親方は、部屋の看板力士である大関の花筏が急病で寝込んでしまい、とても巡業に出られる状態ではない。今さら断るわけにもいかないので、花筏とそっくりな徳さんを偽の花筏として連れて行きたいと言う。ただ太っているだけの徳さんは断ろうとするが、「土俵入りだけで良い。さらに普段の提灯張りの手間賃の倍の金を出す。」と言われて話に乗る。

千秋楽になって千鳥ヶ浜という地元力士と花筏との一番が組まれてしまう。千鳥ヶ浜は素人ながら、これまで九戦全勝の強豪である。約束が違うと言うと、連日の派手な振る舞いから、体調が戻っているのではないかと疑われていると聞かされる。親方から、体も無事で大関の名前にも傷がつかない手立てとして、「立合い後すぐ相手に触ったらそのままひっくり返ってわざと負けろ。無理して土俵に上がったことへの同情の声が上がる。」と言われて仕方なく引き受ける。

一方の千鳥ヶ浜は天下の大関と相撲が取れると喜んでいたが、今まで勝ってきたのは相手が手を抜いてくれたおかげだから明日は相撲を取るなどと言われる。

しかし、当日、千鳥ヶ浜は土俵に上がってしまい、仕切りが始まる。花筏は恐ろしさに涙をこぼし、これがこの世の見納めかと思わず「南無阿弥陀仏」と唱えてしまう。ところが念仏の声を聞いた千鳥ヶ浜の方も、「花筏は本当に自分を殺そうとしている。哀れな奴だと涙を流して念仏を唱えているのだ。」と思い込んで涙を落として「南無阿弥陀仏」と唱える。そこに行司の声がかかり、立ち上がった二人だったが、殺されると思っている千鳥ヶ浜は身体に力が入らない。そこへ親方の言うとおりに伸ばした花筏の手が当たって千鳥ヶ浜はあっけなく倒れてしまう。観客たちは、張り手で吹っ飛ばすとは花筏はさすが大関だと感心する。「張るのは上手いはず、提灯屋の職人ですから。」



閉講式・第7回講座のまとめ

1 日時 令和8年（2026年）2月17日（火）13:30～15:00

2 会場 山吹ふれあいセンター 会議室

3 内容 閉講式

式辞 井手町教育委員会 中田 邦和 教育長
修了証書授与・皆勤賞贈呈

講演

演題 「食べる色彩学」 ～元気の素は“色”にある～

講師 認定 NPO 法人色彩生涯教育協会 認定講師

カラトリエ代表 辻井 裕美 さん



4 参加者 受講者 36名 その他10名 計46名

5 講演概要

(1) はじめに

前は「衣装と色」についてお話をさせていただいた。今回は「食と色」についての話をさせていただくが、食の色に目が向くようになっていただけると嬉しいと思う。

「色」というのは、一人ひとり感じている色が違うのかも知れない。それぞれ目も違うし体のつくりもちがうのだから、これが正しいというのではなく、それぞれに感じている色で感じてもらえれば良い。

(2) 食べ物と色

人間の五感の情報量について、視覚が約8割を占める。「美味しさの8割は、見た目から始まっている。」と言える。

オレンジジュースは、色の濃さが違うと、「すっぱそう。」「味が薄そう」など感じ方が変わる。チョコレートも「甘そう。」「苦そう。」と色の濃さで感じ方が違う。見た目で既に味を感じているのである。

「シャキシャキ」という音で、レタスなどの緑の生野菜を想像する。「オノマトペ」と「色」に関係がある。

【「オノマトペと色の当てっこクイズ」をペアで実施】

(3) 食べ物と色の名前

JIS 慣用色名の中には、「あずき色」「からし色」「小麦色」「栗色」などの和色名、「サーモンピンク」「ワインレッド」「キャロットオレンジ」などの外来色名という風に食べ物からついた色の名前がある。

(4) 色と食欲

大根の煮物を茶色の器に入れるより、白など明るい色の器に入れる方が美味しそうに見える。さらに、絹サヤなどの緑の食材を足すと、さらに美味しそうに見える。

「同化」によって美味しそうに見える例として、イチゴは白い皿より赤い皿に載せる方が甘く美味しそうに見える。ミカンを赤いネットに入れるのも同じである。

食べ物には赤やオレンジ、緑のものが多く、青や紫は少ない。「対比」によって美味しそ

うに見える例として、食べ物の色を引き立てるために器の色に青を使う。

(5) 色と食べ頃

人は、「より赤いトマトやイチゴは甘くて美味しい。」「より黄色いバナナは甘くて美味しい。」など人は、暖色の強いものは美味しいということを経験から知っている。昔のお弁当は、あまりナマモノを入れられなかった。色鮮やかではなかったので、梅干を入れることで美味しそうに見えた。

(6) 食材の色分け【個々にワーク】

今朝の食事・昼の食事を思い出してメニューを書き、食材を挙げ、それを「赤」「黄」「緑」「白」「黒」に色分けする。

「赤」 肉類：牛肉、豚肉、鶏肉

野菜：ニンジン、トマト、イチゴ

魚介類：マグロ、エビ

「黄」 野菜：カボチャ、パプリカ

果物：ミカン、パイナップル

豆類：納豆、大豆

たまご

「緑」 野菜：ブロッコリー、ピーマン、オクラ、インゲン、ネギ、ホウレンソウ

果物：メロン、マスカット、キウイ、アボカド

「白」 穀類：ごはん、パン

乳製品：ヨーグルト、牛乳、チーズ

野菜：ダイコン、カリフラワー、ニンニク、タマネギ

豆腐・白ごま

「黒」 海藻類：昆布、ワカメ

キノコ類：シイタケ

黒豆



(7) 骨粗鬆症

日本の骨粗鬆症推定患者数＝1300万人。女性ホルモンが関係しているために女性に多い。骨粗鬆症患者数は、60歳台で20%、80歳台では約半数と言われるが、検診率が低く（5～10%）、骨折してから気付く人も多い。注射による治療もあるが、食が大切である。カルシウム（牛乳、ヨーグルト、豆腐、小魚など）を摂取し、それを定着させるためにビタミンK（小松菜、ホウレンソウなど）、吸収するにはビタミンD（キノコ類、たまごなど）が必要である。ここでも5色をバランスよく摂ることが大切である。日光に当たること、運動を続けることも大切である。

(8) 元気の素は“色”にある

主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく栄養を摂ることが大切であるが、どの食材にどんな栄養があるかを全部覚えるのは大変。そこで、色に着目し、「赤」「黄」「緑」「白」「黒」の5色をバランス良く食べることを意識することでバランスが整う。